

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男イ

男子 3回戦

会場 八潮エイトアリーナ コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
北陸高等学校	39	16	—	9	県立川口東高等学校
		23	—	10	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			

大会3日目、ベスト8をかけた対戦。第1シードである北陸高校と地元埼玉代表の県立

川口東高校との一戦、両チームともに多くの応援を背に盛り上がった試合が期待される。

試合開始1分、北陸高校6番藤坂のカットインシュートによるゴールでゲームがスタート。

北陸高校は5・1DFで高い位置からのプレッシャーをかける。固いDFから速攻などで北

陸高校が4連取。前半8分、8-2で北陸高校リード。たまた、県立川口東高校がタイ

ムアウトを請求。体格の差が目立つ、立ち上がり。離されたくない県立川口東高校は12

番中村のセーブから得意の速攻に繋げていきたいが、北陸高校の勢いは止まらない。前半

は16-9北陸高校リードで終了。

後半も北陸高校は6番藤坂を中心に攻撃を展開し、差を広げていく。県立川口東高校も

14番高橋のシュートなどで反撃を試みるも、高く、強いDFに阻まれ、加点することが

できない。一時、県立川口東高校1番伊藤の好セーブで会場を沸かせる場面を作るが、差は広がる一方である。最終的39-19で北陸高校の大差での勝利となった。

2019年3月26日

記載者氏名 永田 真也

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男 口

男子 3回戦

会場 八潮エイトアリーナ コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
大阪体育大学浪商高等学校	<u>30</u>	[17 — 11 13 — 12 — — — 7mTC	興南高等学校
]	<u>23</u>	

先制点は興南高校 13 番新里のサイドシュートから始まった。続いて 8 番平田が決め勢いに乗りたところだが、浪商高校 11 番木村に連続得点をされ同点に戻される。浪商高校 16 番今井による好セーブに 5 番松川、20 番泉本が続き前半 9 分逆転から 2 点リードする。興南高校 19 番瑞慶山からディフェンスを崩しに行くが、浪商高校の速いカバーにより思ったように攻められない状況が続く。興南高校高い守りに変えるも前半 17-11 で追いかける展開で折り返す。後半は浪商高校 7 番泉本、8 番難波、5 番松川による得点で一気に 9 点差に広げる。興南高校は力強いから逆速攻で 6 番池間が決め勢いに乗ったかのように見えたが浪商高校の最後の砦に阻まれる。後半 9 分興南高校 7 番伊禮、5 番宮城の強烈なシュートから差を縮めにかかる。しかし粘りの守りをする興南高校をかわし攻守ともに勢いが止まらなかった浪商高校が前半からのリードを広げ続け、30-23 で興南高校から勝利をもぎ取った。

30 年 3 月 26 日

記載者氏名 村本春香

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男ハ

男子 3回戦

会場 八潮エイトアリーナ コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
高岡向陵高等学校	38	21	15	県立日川高等学校
		17	14	
		—		
		—		
		—		
		7mTC		

3回戦、初戦接戦を制した県立日川高校と高岡向陵高校との対戦。日川のスローオフで試合開始。高岡向陵は2番金岡、11番中島のロングシュート、3番村藤のミドルシュート、カットインで4連続得点。対する日川も2番佐藤匠、8番古屋のカットインで応酬するも高岡向陵1番塚本の好セーブに阻まれる。開始11分、5点差をつけられたところで日川がたまらずタイムアウトを要求。何とか流れを変えたい日川は機動力を活かした組織的なディフェンスで食らいつくが、2番金岡、5番中村を中心とした高岡向陵の力強い攻撃に振り切られ、21対15で前半が終了した。後半も高岡向陵の勢いは止まらず、3番村藤のサイドシュート、10番早川のカットインで確実に差を広げた。一時、4番小澤、11番佐藤涼斗、2番佐藤匠の3連続得点や日川の持ち味である守って速攻で流れが変わるかに見えたが、最後まで点差は縮まらず、38対29で高岡向陵高校が危なげなく勝利する結果となった。

2019年3月26日

記載者氏名 宇野明美

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男二

男子 3回戦

会場 八潮エイトアリーナ コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
市川高等学校	28	[12 — 21 16 — 17 — — — 7mTC]	38	熊本国府高等学校

3回戦、市川高校と熊本国府高校の対戦。熊本国府のスローオフで試合開始。市川8番渡邊の鋭いミドルシュートで先制する。すかさず熊本国府13番蓮澤のカットインで応戦。その後、熊本国府は7番松岡、13番蓮澤、9番山上と連続得点をあげ、点差を広げにかかると。開始10分6点差のついた場面ですかさず市川が1回目のタイムアウトを要求。流れを変えたい市川は2番根本を中心にスピードに乗った攻めで得点を重ねていく。しかし、前日藤代紫水を破り勢いに乗る熊本国府はその後も多彩な攻めで得点を重ね、前半を9点リードで終える。後半、反撃に出たい市川は素早いパス回しでディフェンスを崩しにかかるが、熊本国府のパスカット・速攻などで苦しい展開に。一方熊本国府の勢いは後半も衰えず、3番辻本のポストプレーなどを中心に力強いシュートを打ち込む。後半は一進一退の攻防が続いたが、市川が遂に主導権を奪うことはできず、38-28で熊本国府の勝利で終わった。

31年 3月 26日

記載者氏名 大澤 詳平